

カーボンナノチューブ、長さ3倍に

強度や熱伝導性向上

東大が作成

東京大学の丸山茂夫教授は、従来の約三倍の長さのカーボンナノチューブ(筒状炭素分子)を作成した。長さを伸ばしたければ、樹脂などと混合した複合材料の機械的強

度や熱伝導性、電気伝導性などを向上できるという。

東大が作成したカーボンナノチューブは単層で、直径二ナノ(ナは十億分の一)メートル。長さは約三十キロメートル。従来

の单層カーボンナノチューブの長さは十容易メートル程度だった。作り方は、厚さ〇・五ミクロンの石英の基板の上にコバルトとモリブデンの触媒を載せて反応装置に入れる。基板をセ氏八百

度に加熱し、百分の一気圧の希薄な状態にしてアルゴンを流し込むと、触媒を基点にカーボンナノチューブが成長する。